

報道関係者各位

株式会社コンピュータ・ニュース社
〒113-0033 東京都文京区本郷 3-25-1
TEL 03-3818-2661 FAX 03-3818-3006

本件に関するお問い合わせは下記にお願いします。

<http://computernews.com/marketview>

低価格デジタルカメラベンダー群のシェアが24.5%

コンピュータの週刊専門紙である「BCN」(BUSINESSコンピュータニュース)を発行する株式会社コンピュータ・ニュース社は、東名阪のパソコン大手販売会社9社(エイデン、グッドウィル、コンプ100満ポルト、コンプマート、CSKエレクトロニクス=T・ZONE、スタンバイ、ソフマップ、九十九電機、ニノミヤ=50音順)288店舗の日次販売データをデイリーで収集し配信するBCNランキング(システム名:BCN Market View)を公表しています。このデータをもとに、BCNの市場調査部門であるBCN総研ではPCリテール市場の動向分析を行っています。

株式会社コンピュータ・ニュース社(本社:東京都文京区、代表取締役社長 奥田喜久男)の市場調査部門であるBCN総研のまとめによると、デジタルカメラ(デジカメ)市場において、実売価格1万円以下の低価格製品を発売するベンダー群のシェアが24.5%(6月19日~26日)となった(図2)。タカラ、トミー、バンダイ、高木産業で構成される低価格デジカメベンダー群に、6月第4週、ニチメンが「Che-ez!」で参入、低価格デジタルカメラ市場の流れをさらに加速させた。

「Che-ez!」の実売価格は7,900円。解像度は30万画素で、外形寸法87mm×68mm×25mm。重量は69gとなっている。「ブルーベリー」、「グラファイトグレー」、「ストロベリー」の3色を揃えている。機能を絞り込み、軽量・コンパクト、低価格を強みに打ち出している点で、タカラやトミー、バンダイ、高木産業などが発売する低価格デジカメと同カテゴリの製品である。BCNランキングでは、6月第4週(6月19日~26日)で「Che-ez! ブルーベリー」が6.59%で初登場2位となり、「Che-ez! グラファイトグレー」が2.82%で10位にランクするなど、スタートは好調である(図1)。

「Che-ez!」でデジカメ市場に参入したニチメンの登場で、低価格デジカメベンダーの影響力が強まった。図2は、低価格デジカメベンダーのベンダーシェア推移を週次で追ったグラフである。4月17日~23日の時点では、5.6%にとどまっていたが、その後、勢力を伸ばし始め、「Che-ez!」が登場した6月第4週にはデジカメ市場で24.5%を占める結果となった。

現在、デジカメでトップを走るのは、キヤノンの「IXY DIGITAL」(12.44%)。価格は5万8,500円と安くはないが、その価格に見合うスペックを備え、なおかつ、小型・軽量・スタイリッシュなデザインを実現した。

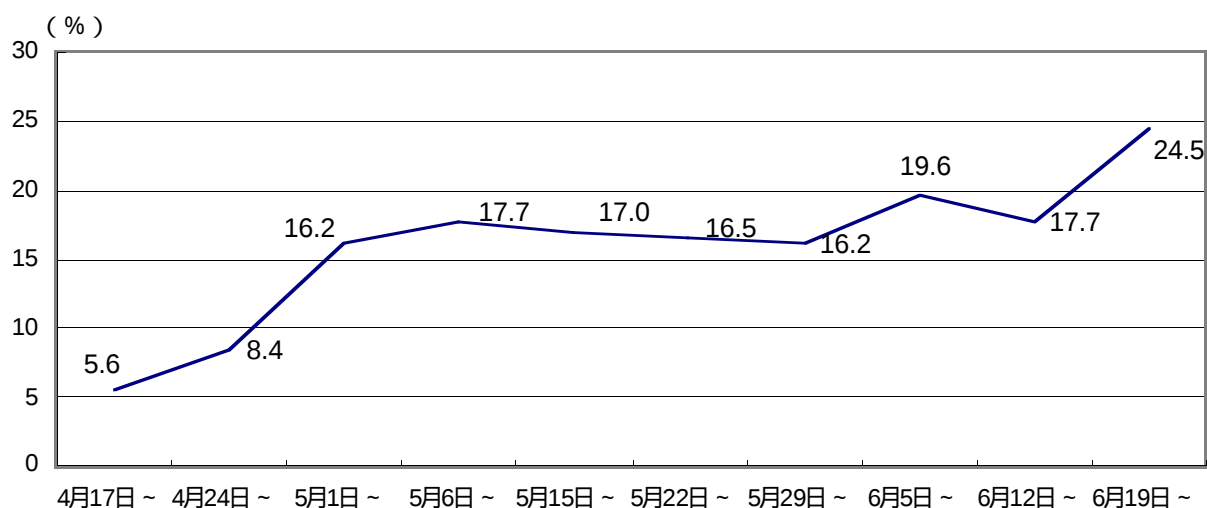
デジカメは今後さらに、小型・軽量化・デザイン性を追求する傾向にある。ただし、潮流は、本格的な使用を指向する方向と玩具的な使用を指向する2つに分かれ始めている。

図1 デジタルカメラ売れ筋トップ10 (6月19日～26日)

順位	ベンダー	品名	台数シェア(%)	平均単価(円)	発売日
1	キャノン	IXY DIGITAL	12.44	58,500	2000.05
2	ニチメン	Che-ez! ブルーベリー	6.59	7,900	2000.06
3	バンダイ	C@Mail ブルー	5.19	7,300	2000.04
4	オリンパス	CAMEDIA C-960ZOOM	4.32	39,600	2000.03
5	ソニー	Cyber-shot	3.98	87,300	2000.03
6	オリンパス	CAMEDIA C-860L	3.79	28,500	2000.02
7	富士フイルム	FinePix4700Z	3.64	83,500	2000.03
8	カシオ	QV-3000EX	3.24	59,500	2000.02
9	高木産業	PURPOSE 35万画素デジタルカメラ	2.97	9,600	1999.11
10	ニチメン	Che-ez! グラファイトグレー	2.82	7,900	2000.06

(BCNランキング)

図2 低価格デジタルカメラベンダー群*販売台数シェア推移(週次)



(高木産業、タカラ、トミー、ニチメン、バンダイ)

(BCNランキング)